

山口悟技官 地盤工学会北海道支部賞を受賞

当研究所構造部土質基礎研究室の山口悟技官は、平成9年5月29日に開催された平成8年度地盤工学会北海道支部通常総会において、地盤工学会北海道支部賞を授与された。受賞論文は「P S 検層による深層混合処理の改良評価」である。

近年軟弱地盤の地盤改良工法として深層混合処理工法が広く用いられているが、深層混合処理工法はセメント等の固化材を地盤内で強制的に攪拌混合するものであり、できあがった改良柱体は必ずしも均質にならない場合もある。しかし、現在の品質管理は改良された地盤からボーリングによって採取された試料の一軸圧縮強さにより、改良効果を判断しているため、正確な評価ができない場合もある。

本論文は、不均一な改良地盤を評価するため、現行手法よりも安価で迅速な、より広範囲の評価手法として、孔内起振受振方式のP S 検層による深層混合処理工法の改良評価を提案したものである。本評価手法により適切な改良評価をすることによって、セメント量も低減でき、建設コストの縮減にもつながるものと思われる。これらの成果は、深層混合処理工法によって改良された地盤の強度を、現行の手法に比べ、より広範囲に実施可能な方法として、地盤工学の発展に寄与するところが大いだと認められたものである。

